

1) 国学院大学環境教育研究プロジェクトチームによる研究会活動と教材作成

プロジェクトチームによる研究会活動は、各教員独自の環境問題への視点を共有することにも貢献します。その共有を図ることは、平成19年度のオムニバス形式の総合講座「歴史・文化的視点からの自然との共生」を行う際、他の教員の講義との連続性と統合性を確保することになり、これによって、受講する学生は、歴史的・文化的視点からの環境問題の統合的把握が容易になります。また、プロジェクトチームが作成した教材、とくに、E-learningのソフトUb!Pointを活用して作成した教材は、総合講座を受講する学生のみならず、多くの学生が、自習や復習することを可能にします。

2) タイでのフィールド調査実習

例年実施しているタイでのフィールド調査実習では、経済開発に係わる様々な立場の人々の「生の声」を聞き、実際の生活に触れることを通して、経済開発が生活者にもたらす影響や環境問題などへの理解を深めています。こうしたフィールド学習の記録を整理・編集することで、より多くの学生が、アジアにおける経済開発に伴う環境問題への理解を深めることができます。過去にフィールド調査実習の授業を受講した卒業生の中にNGOで活躍している人もいることから、これからも将来、環境・開発分野で活躍する人材が育っていくことが期待されます。

3) 国内でのフィールド学習とその報告

岩手県紫波町の間伐作業に参加した学生は、自分たちが伐採した間伐材が循環型町づくりでどのように利用されているかを、地元の人々から学んでいます。このフィールド学習は、教職課程の教員が中心となって行っており、教職希望の学生の参加も多いことから、彼らの体験は、将来、教壇に立ったとき、環境問題を生徒に教えるのに役立つでしょう。

経済学部でのフィールド調査実習の授業に参加した学生は、その成果を印刷物としてまとめるとともに、報告する機会を与えられます。その際、パワーポイントをはじめデジタル情報（映像、音声）を活用して、視覚に訴える報告などを重視しています。これにより、学生のプレゼンテーション能力の高度化が図られるとともに、広く情報発信能力の強化が期待されます。

平成19年度には、千葉県鴨川市の山間地に借りた田圃（棚田）において古代米を栽培する予定です。この企画は、学生たちに水と食糧の関係を、理解させることを目的としています。それによって、自然環境と食と農の緊密な関係性を理解できるようになり、賢明な消費者・生活者を養成することが可能です。

4) 愛知県北設楽郡東栄町における一年の祭りと芸能および生活の撮影

神道文化学部の教員は、社を中心とした共同体の一年の祭事・仏事について、映像記録作業（DVDハイビジョン撮影）に取り組みます。その対象として、「命の誕生と育み、再生と供養」といった連関性を表現している奥三河の集落をとりあげ、視聴覚教材を作成します。これらの教材によって、学生たちは、祭りの持つ共同体とその成員の象徴的な命の誕生・維持・活性化における儀礼的システムを学び、神社の持つ鎮守の森の民俗的意味を探求することで、自然環境と人間の命の大切さや生きる力を学びます。さらに、将来、地域社会の伝統文化の継承者、環境保護活動の指導者をも担う神職の養成につながるという効果も期待されます。

5) 国際的な視点からの学習

国際的な視点から環境問題を学生に理解させるために、韓国の協定校である京畿大学校でセミナーを開きます。セミナーにおいて、京畿大学校の教員および学生と意見を交換することにより、日本および韓国における環境問題について国際的な理解を深めることができます。自然環境の汚染問題が、隣国との共有すべき問題であり、その対策も国境を越えて行わなければならないことを学ぶよい機会となるでしょう。また、作成したE-learning教材などを、京畿大学校に提供することで、京畿大学校の学生にとっては、日本における環境問題を学ぶとともに、日本語を学ぶ際の教材としても活用することが可能となります。

以上のような本学の環境教育プログラムに対して、ご理解・ご支援を賜れば幸いです。



お問い合わせ先

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28 国学院大学教務課 電話:03-5466-0795

国学院大学環境教育研究プロジェクトチームのホームページ:<http://www2.kokugakuin.ac.jp/kanky/>

国学院大学